

市民版



竹かごに和紙重ね

石川さん(右)の手ほどきを受け、牛乳パックに和紙を張る参加者ら―京都市山科区

張籠 身近に感じて

山科 福祉関係者ら体験



竹で編んだかごに和紙を張り重ねて作る「張籠」を身近に感じ、山科区の工房で、張籠

づくりの練習会が行われた。福祉関係者らが工房を訪れ、伝統工芸に触れた。

張籠は竹で編んだかごに和紙を張り、漆や柿渋を塗る作業を繰り返して作る。かつては書状を入れる文箱や衣装箱などとして日常的に使われていた。

9日に開かれた練習会では介護福祉士で張籠職人の石川裕二さん(70)が講師となり、市中途失聴・難聴者協会の橋本英憲理事長(80)と手話や筆談での交流スペース「ぷくcafe」(伏見区)の小池育子さん(57)とともに張籠の技術を



張籠の技術を活用して、牛乳パックから作ったペン立て(京都市山科区)

亀齡堂薬局

漢方相談(予約制) 駐車場あります
〒602-8136 京都市上京区堀木町通堀門東入
中国門横町57-4番地1 フォールマワッドビル1F

075-803-1675
(10時~18時 土・日・祝除く)
<https://www.kireidou.co.jp>

読者応答室

075(241)5421

「まちかど 欄」

FAX 075/252-5454

器 出合い求めて

開催する。地域の有志でつくる実行委員会は「今年は器も食もバリエーショ

界「前10都の午後7(10)開館に、代のれも階ホ学ト一深々ト四季午前京京都ペーり内。場合ト協